

福井結城氏と 関東の名族

令和4年
夏季特別陳列
I

初代福井藩主・結城秀康は、江戸幕府を開いた徳川家康の二男として知られますが、その一方で源頼朝の側近・結城朝光にはじまり、現在の茨城県結城市を本拠とした名族・結城氏の継承者でもありました。関ヶ原の戦いの後、秀康が越前国を拝領すると、結城氏の家臣団やゆかりのある寺院などが関東から越前に移住・分立しています。このような結城秀康を通じた歴史的繋がりをきっかけとして、福井市と結城市においては長年にわたる交流が行われており、平成14年に友好都市となりました。

本展では、福井市と結城市の友好都市提携20周年を記念し、福井藩と結城氏との関わりを紹介します。



慶長年中北ノ庄城下絵図(越葵文庫、当館保管)

会場／2F 企画展示室

観覧料

一般 600円／高・大生 400円

※特別陳列①の観覧料も含まれます。

※中学生以下、70歳以上、障がい者とその介助者は無料。
20名以上の団体は2割引き。

関連行事

◆ギャラリートーク(担当学芸員による展示解説)
7/30(土)・8/20(土) 各日10:30～
40分程度 観覧料が必要です。

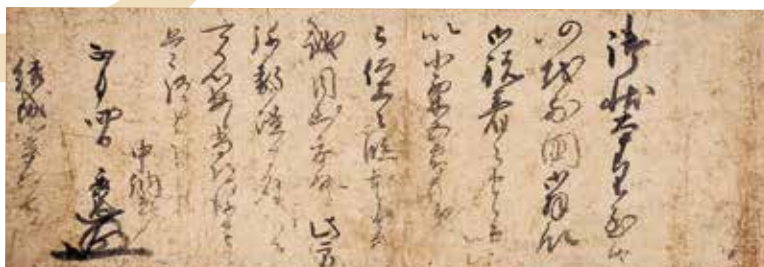
◆みどころ講座(講師 中西健太/当館学芸員)
8/6(土) 10:30～11:30

参加費100円、定員40人(抽選)

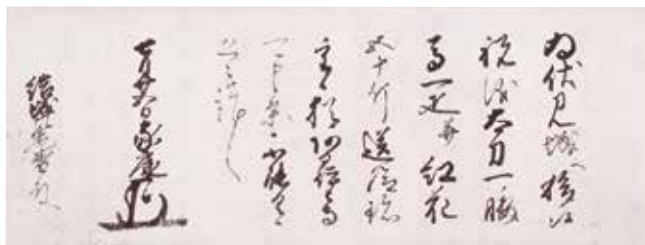
※申込締切は7/27(水)必着。往復はがき、Eメール
または当館HPの申込フォームにて受付。



銅造結城秀康小像(越葵文庫、当館保管)



(慶長六年)正月四日付 結城秀康宛徳川秀忠書状(越葵文庫、当館保管)



(慶長四年)七月二十五日付 結城秀康宛徳川秀忠書状(越葵文庫、当館保管)

ボンボニエール 絆をつなぐ銀の小箱

令和4年
夏季特別陳列
II

ボンボニエールは、皇室の慶事や弔事の宴席、海外からの賓客を迎えた晩餐会で、出席者へ記念品として配られた手のひらサイズの菓子器です。その多くは銀製で、それが贈られた人と人、国と国の絆をつなぐハレの場にふさわしいデザインが凝らされています。

当館には、大正期から戦前にかけてのボンボニエールが80件以上伝えられています。これらは松平慶民(16代福井藩主松平春嶽嫡男)が宮内省に勤めていた折に参列した宴席等で拝領したものです。

本展では、慶民ゆかりのボンボニエールを即位の儀式や外交、人生儀礼など拝領した場面ごとに紹介します。一つ一つのボンボニエールのデザインに込められた思いとともに、極小の工芸美をお楽しみください。

会場／1F 松平家史料展示室

観覧料

一般・高大生 220円

※中学生以下、70歳以上、障がい者とその介助者は無料。
20名以上の団体は2割引き。

関連行事

◆ギャラリートーク(担当学芸員による展示解説)

8/7(日)・21(日)各日10:30～ 40分程度 観覧料が必要です。

①鼓形ボンボニエール ②デンデン太鼓形ボンボニエール ③亀甲模様卵形ボンボニエール ④兜形ボンボニエール
⑤洋書形ボンボニエール (全て 福井市春嶽公記念文庫)





令和4年 夏季特別陳列



関東の名族 結城氏と 福井

Illustrious family
of Kanto
Yuki clan
and
Fukui

令和4年

※会期中無休

7/23^土 → 8/28^日

【開館時間】9:00~19:00 (入場は18:30 まで)

【観覧料】一般 600円 / 高・大生 400円

※中学生以下、70歳以上、障がい者とその介助者は無料

【会場】2F 企画展示室

【主催】福井市立郷土歴史博物館

【共催】福井新聞社

【後援】FBC、福井テレビ、FM福井、
福井ケーブルテレビ、
さかいケーブルテレビ、
福井街角放送



同時開催 夏季特別陳列

ボンボンニエール
絆をつなぐ銀の小箱

会場 / 松平家史料展示室

(右) 入目籠形ボンボンニエール (福井市春嶽公記念文庫)

(中央) 太刀 銘 江州住百国 秀康所持之 (越後文庫、当館保管)

(左上) 永禄二年極月九日付結城晴朝宛足利義氏書状 (宛名部分) (松平文庫、福井県文書館保管)

(左下) 金小札紺糸威二枚胴具足 (個人蔵、当館保管)

福井市立郷土歴史博物館

〒910-0004 福井県福井市宝永3丁目12-1 TEL:0776-21-0489

